

2015年1月5日

シーメンス、放射線治療用 MRI 装置を販売開始

この度、シーメンス・ジャパンは、高精度放射線治療で求められる位置決定の精度向上や効果判定に対応する MRI 装置を発売した。

今回発売された装置は、高性能 MRI 装置である同社の 1.5T 装置と 3T 装置に、放射線治療用アクセサリとアプリケーションを搭載したもの。高精度で高機能な情報を得られ、腫瘍伸展範囲の同定をよりの確に設定できる。

例えば CT 画像では、頭頸部や骨盤腫瘍の正常組織と病変部の識別は困難だが、同装置は多種多機能な MR 画像を融合することで、高精度な放射線治療を可能にした。これにより、正常臓器容積精度の向上や危険臓器への照射線量を低減でき、正常組織障害発生確率が低下できる。

さらに、MRI は高い腫瘍活性度や細胞の充実性を視覚化できるため、肉眼的腫瘍体積の設定精度が向上し、同時追加照射による病変への高線量照射や治療期間の短縮が期待できる。MR 検査により早期治療効果判定ができれば、追加照射の早期決定や化学療法との併用開始時期の決定にもつながるという。

以上